

令和7年度益田地域保健医療対策会議 議事概要
(地域医療構想調整会議全体会議)

【日 時】 令和8年3月19日(木) 14:00~16:00

【開催方法】 益田合同庁舎 大会議室 (web 併用)

【出席者】 別添資料のとおり

【議事内容】

1 報告事項

- ・ 地域医療構想について
- ・ 益田圏域の在宅医療と介護の現状について
- ・ 医療。介護連携部会報告

2 島根県保健医療計画の進捗状況について

3 意見交換

テーマ『どのような取組があれば、益田地域で生活し続けられるのか?』

4 医療連携コーディネーター活動報告

5 来年度委員改選について

【主な意見・協議結果】

1 報告事項

「地域医療構想について」

- ・ 目指すべき方向性は、「治す医療」「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、地域完結型の医療・介護提供体制を構築
- ・ 外来・在宅、介護連携等も新たな地域医療構想の対象とする

「在宅医療・介護の現状」

- ・ 地域医療構想の必要病床数と比べ、全体では概ね同程度まで病床が削減。但し、急性期は多く、慢性期は少ない。
- ・ 入院医療の圏域内完結率は、急性期及び回復期は8~9割程度と比較的高いが、慢性期は4割程度と顕著に低い。
- ・ 在宅サービスの完結率はやや低く、他圏域や他県に入所(流出)する方が多い。
- ・ 救急搬送件数は65歳以上が8割、圏域内完結率は9割と高い

2 保健医療計画の進捗状況について

- ・ 吉賀町の地域と医療をつなぐ会(カフェの紹介)
- ・ 松ヶ丘病院(みそ汁の会紹介)

3 意見交換

テーマ：どのような取組があれば、益田地域で生活し続けられるか
<2040年に向けて医療機関の役割、期待する役割や機能(取組)>

- ・ 入院された患者さんを自宅や施設等、次に確実につなぐ
- ・ まずは取り組むことが必要
- ・ 地域は疾病予防や重症化予防に力を入れているため、応えられるような取組
- ・ 我がごととして考える
- ・ 気づいたときは手遅れのため、今から何ができるか住民を巻き込んで考える
- ・ 受診しやすい環境整備
- ・ 眼科や小児科がない
- ・ 訪問診療の啓発、オンライン、遠隔診療
- ・ 急性期治療後、後方支援病院等との連携強化
- ・ 地域医療構想を見据えた運営
- ・ 持続可能な医療提供

- ・一般病床を地域包括医療病棟へ転棟予定
 - ・関係機関や団体とつながり連携する中で地域包括ケアシステムの構築
 - ・多職種との連携による退院調整や先を見据えた医療の提供
- <医療 DX を推進するために必要な取組は何か>
- ・補助金等、必要経費の負担軽減への対応（初期費用、ランニングコスト）
 - ・まめネットを使用し DX は進みつつある
 - ・通信環境整備、職員の業務リテラシー向上が必要

4 医療連携推進コーディネーター活動報告

5 来年度委員改選について

- ・令和 8 年度から対策会議には、部会から益田地域医療センター医師会病院、津和野共存病院、よしか病院に委員として参加いただく →承認された